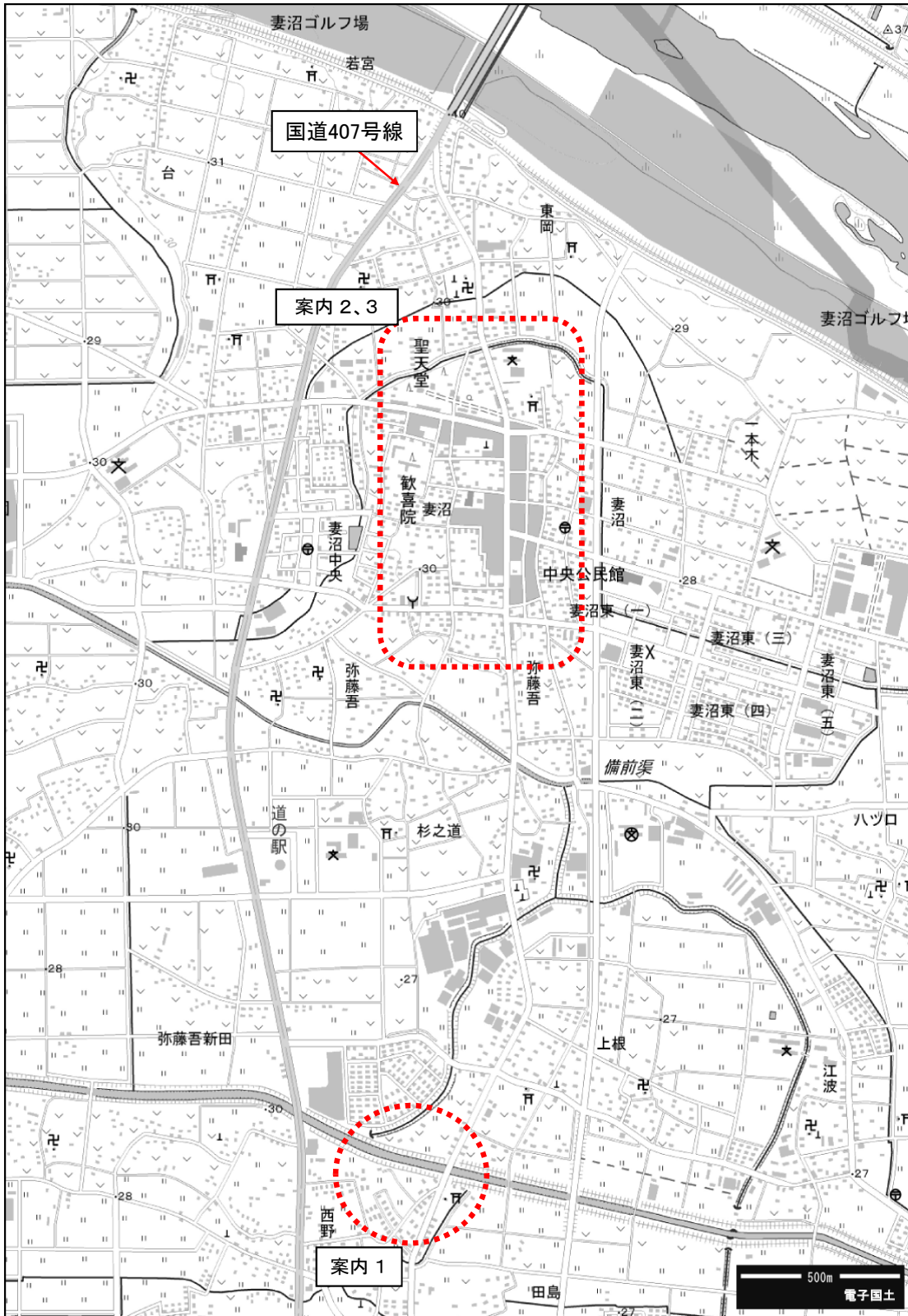


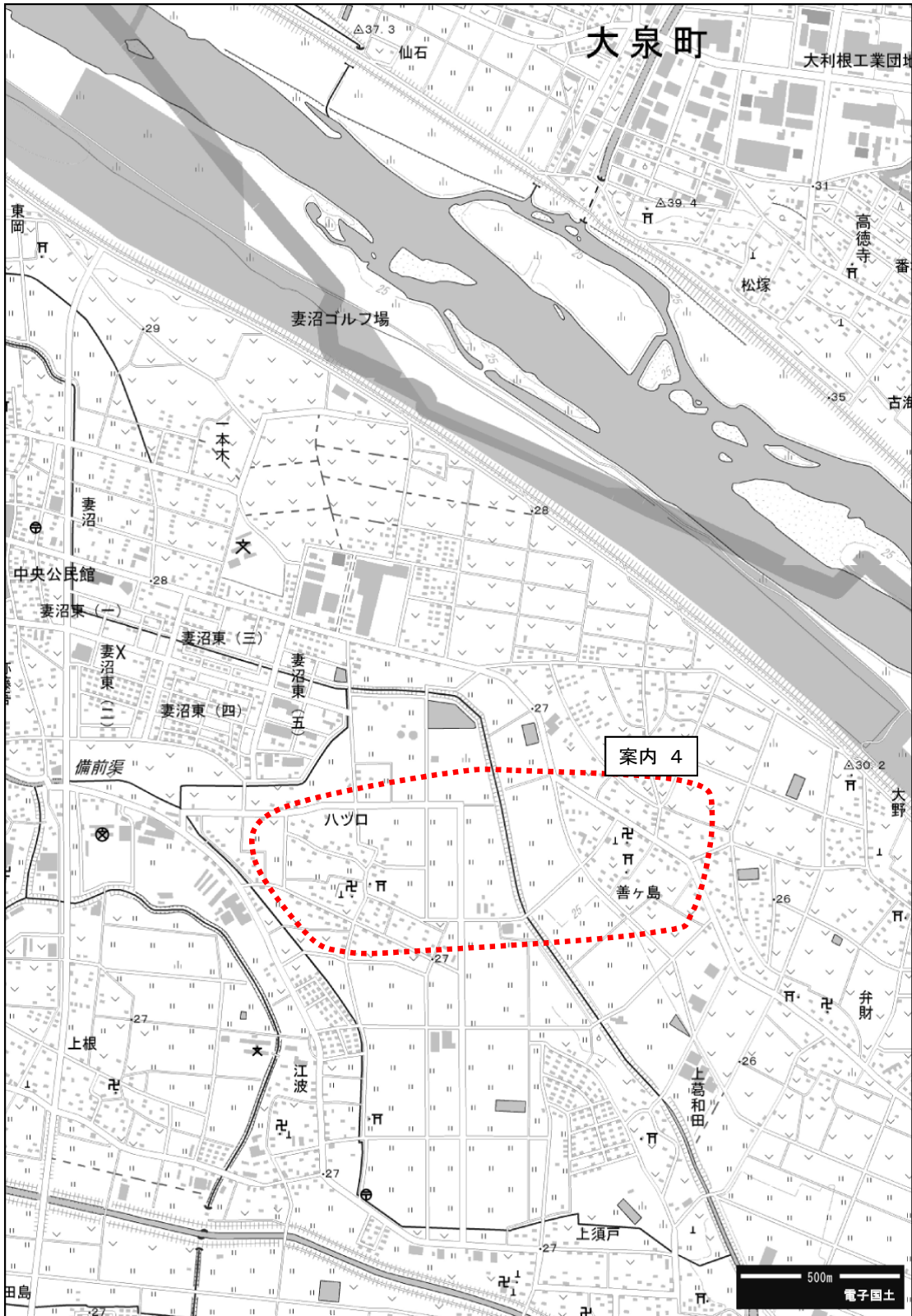
妻沼



案内図

 調査範囲

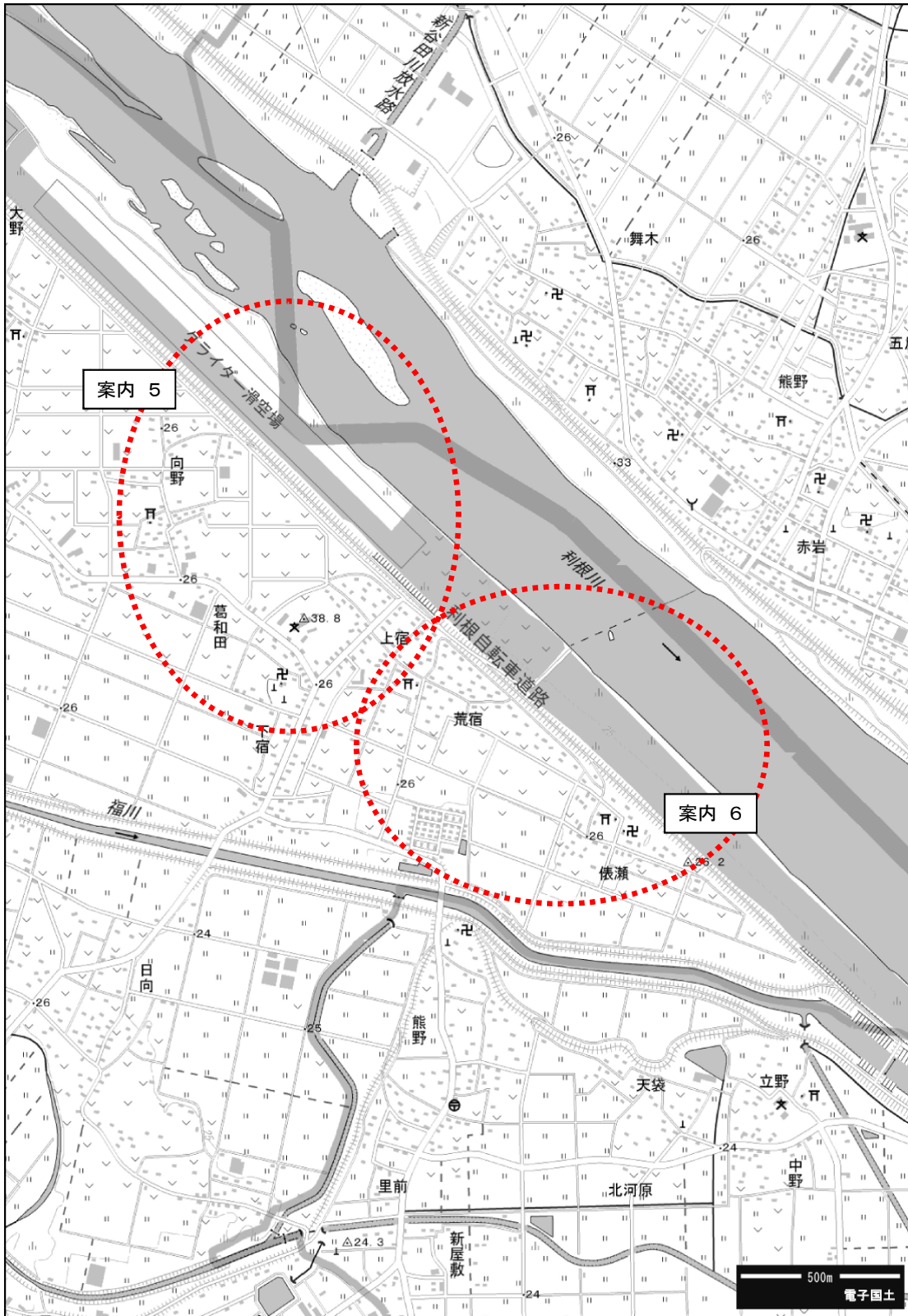
妻沼



案内図

 調査範囲

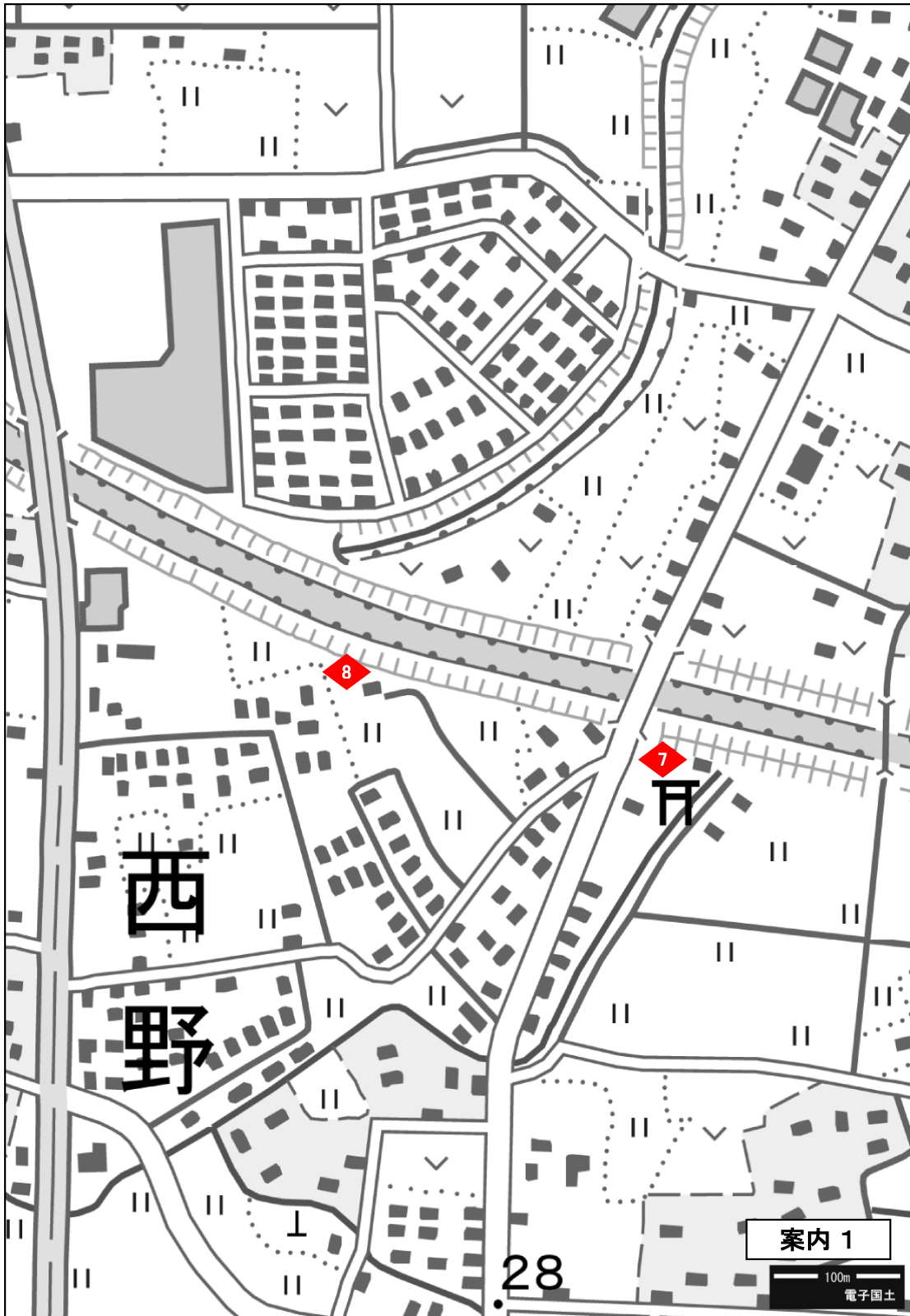
妻沼



案内図

 調査範囲

妻沼



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

妻沼



凡例



史跡・寺社等

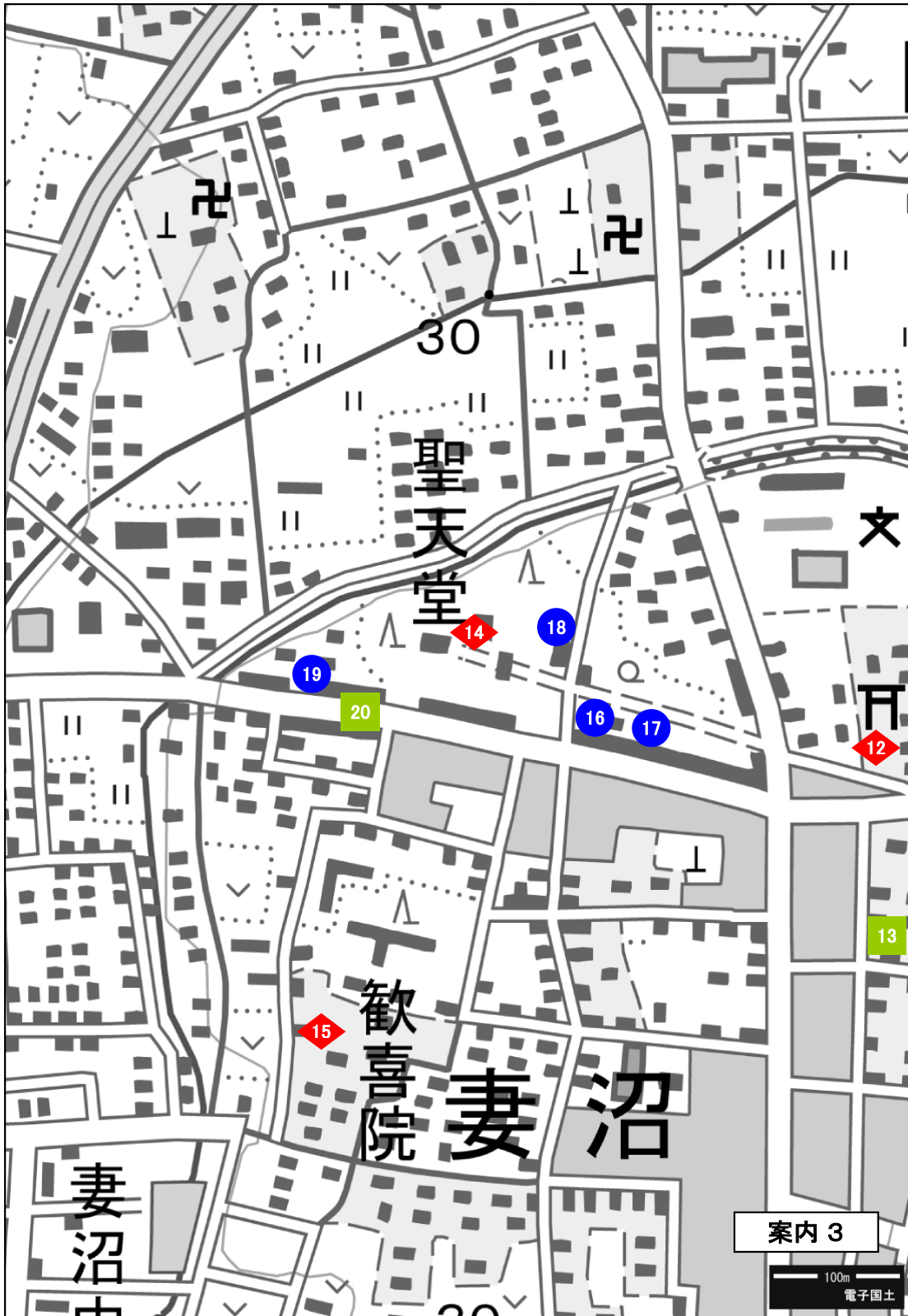


その他の建造物



通り・広場・樹木他

妻沼



凡例



史跡・寺社等

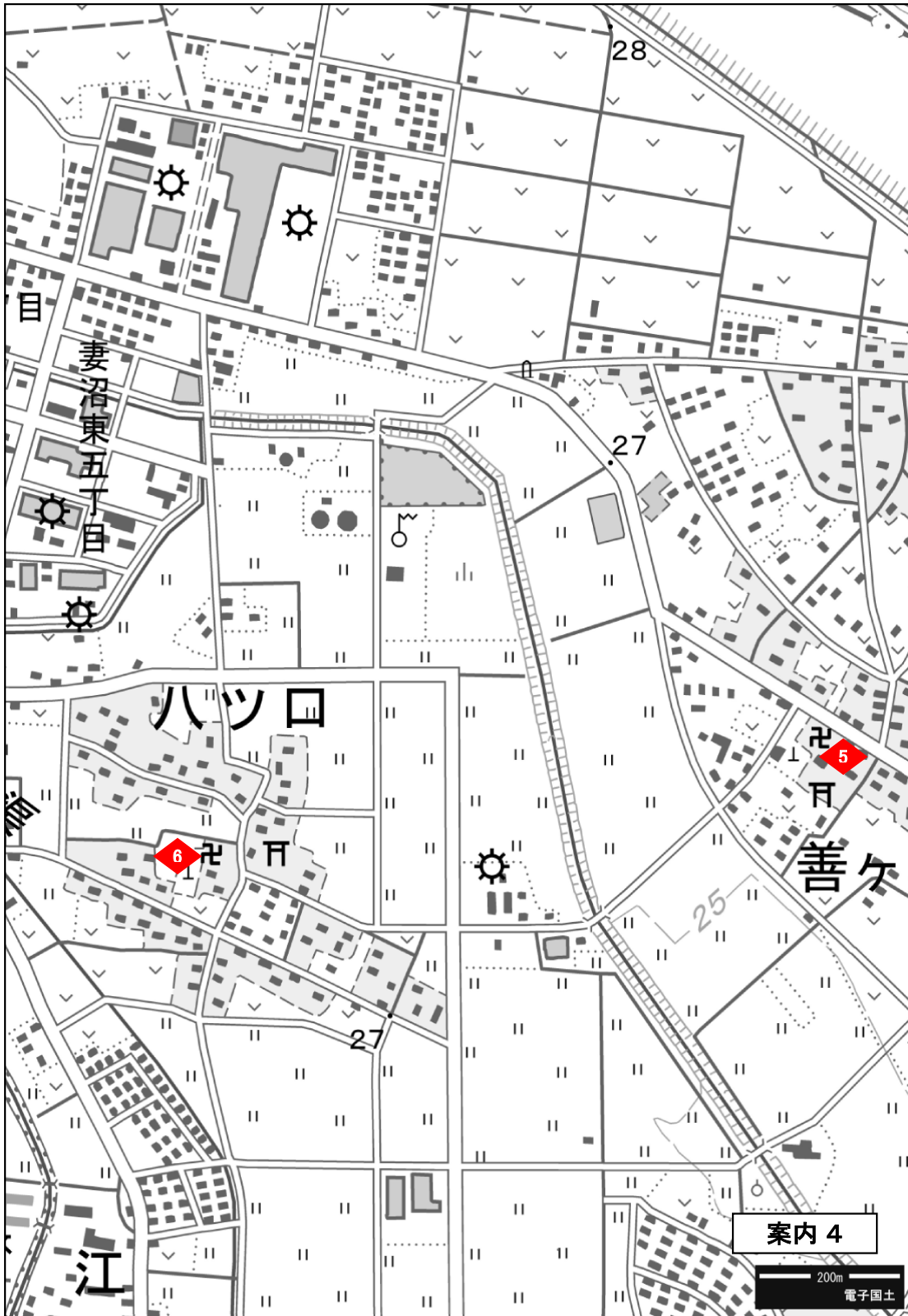


その他の建造物



通り・広場・樹木他

妻沼



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

妻沼



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

妻沼



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

妻沼



平安時代末期の名将、齋藤別当実盛公が祀ったといわれる聖天山を中心に門前町として栄えた妻沼は、江戸時代になると水運の発達により利根川の渡船場が賑わい、市なども立ったという。新田往還へ続く宿場でもあり、上州に向かう徳川家康が聖天山に参詣したという記録も残る。また、古い街並みを生かそうと地元菓子店が中心となって企画された『手作り市』がある。文化財を使用した映画やドラマ撮影の誘致にも積極的である。

(写真は旧妻沼町妻沼)

<p>1 荻野吟子史跡公園</p>	<p>2 大龍寺</p>	<p>3 葛和田渡船場</p>
<p>日本初の公認女医として知られる荻野吟子女史の生誕地。展示館は、彼女の生家を模した建物で、木造平屋建て寄棟造。</p>	<p>元和元年(1615)に開山した浄土宗の寺。</p>	<p>戦国時代の文献にも登場する渡し船は500年以上にわたり貴重な交通手段であった。江戸時代になると水運が発達し、町には市が立つなど賑わった。現在も渡し船『千代田丸』が運行しており、運賃は国道なので無料。</p>
<p>4 グライダー滑空場</p>	<p>5 竜泉寺の観音堂</p>	<p>6 長昌寺と椎の木</p>
<p>利根川の河川敷に広がる滑空場は滑空時間、飛行回数共に日本一を誇り全国約60校の大学生が飛行訓練に励んでいる。田んぼの中でふと見上げれば、青空を優雅に舞うグライダーを見る事ができる。</p>	<p>県指定文化財の観音堂は、三間四面方形造。自然石の礎石に丸柱を立て、切目長押、内法長揮、頭貫、台輪で固める工法から江戸初期のものと推定される。</p>	<p>齋藤別当実盛公が植えたと言われる椎の木は樹齢800余年、高さ約9.1m、枝張り周囲約5.7m、市の天然記念物に指定されている。五本の支柱に支えられ、悠々と生きる。</p>

7	長井神社	8	齊藤実盛館跡	9	旧坂田医院診療所
			<p>平安時代、源頼義が奥州に向かう途中で滞在した場所と伝わる神社。部下に命じて、この地に住み着いていた大蛇を退治してくれたという言い伝えが残る。</p>	<p>かつてこの地域を治めていた齋藤別当実盛公の館があったといわれる。現在はその名残は無く、堤防のすぐ脇にひっそりと碑が佇む。福川と民家の狭間に4本の桜の木が腕を広げ、土手に上がれば清々しい光景が広がる。</p>	<p>国指定登録有形文化財。昭和6年建築の産科医院。RC造陸屋根平家建、正面はスクラッチタイル貼り。昭和初期のモダンスタイルの洋館は、地方近代建築の遺構を残すものとして貴重な建物である。</p>
10	井田記念館	11	両宜塾跡	12	大我井神社
			<p>かつては全国シェア75%を占めた『メヌマポマード』の創立者、井田友平氏の居宅。旧坂田医院の程近くに移築されており、どちらも映画やドラマの撮影に使われている。商工祭等のイベントの際には一般公開もされる。</p>	<p>妻沼町指定文化財。万延元年(1860)に儒学者寺門静軒が開設した学校。対象は普通の寺子屋のように子女に手習いを教えるのではなく、この地方の有識者が対象であった。荻野吟子女史も在籍していたが昭和4年に取り壊された。</p>	<p>明治まで聖天山と混祀されていたが、明治の神仏分離に際し、新たに神殿を造営し、祀りなおした神社。妻沼地区の総鎮守として地域の人に親しまれており、勇壮な火祭りで知られる。</p>
13	路地裏の大樹	14 -1	聖天山 境内	14 -2	聖天山 貴惣門
			<p>大我井神社から路地に入っていくと大きなケヤキの木が見えてくる。</p>	<p>本殿は国指定重要文化財。日本三大聖天のひとつで、聖天様とも呼ばれ、縁結びの寺として知られる。左甚五郎の作をはじめ、多数の彫刻が施された荘厳華麗な本殿は見事で、別名埼玉の小日光とも云われる所以。写真は中門の四脚門。</p>	<p>国指定重要文化財。聖天山第一の山門。嘉永4(1851)年竣工。高さ16m、3つの屋根の破風を組み合わせた重厚な造りが特色。この様式は日本で3棟現存するが、規模では全国に例を見ない。</p>

<p>14 -3 平和の塔</p>	<p>15 歓喜院の門と塀</p>	<p>16 店舗</p>
		
<p>戦没英霊の供養と、世界恒久平和達成の祈願によって、昭和33年に建立された。手前の赤い太鼓橋と木々の緑に囲まれた多宝塔は大変美しい。</p>	<p>齊藤別当実盛公が長井庄(妻沼)の総鎮守として聖天宮を建立したのち、その次男である良応僧都が聖天宮の別当寺院(本坊)を建立し、歓喜院長楽寺を建立した。</p>	<p>聖天様の境内にある店で、うどん、蕎麦のほか、夏にはオリジナル雪くま(かき氷)もある。古民家風の建物は落ち着いた色合いである。</p>
<p>17 店舗</p>	<p>18 旅館</p>	<p>19 店舗</p>
		
<p>通常の倍の長さが特徴の妻沼の稲荷寿司は、200年以上の歴史があるといわれる。古民家風の店舗は並び建つお店とともに時を刻んでいる。</p>	<p>田山花袋の小説『残雪』にも出てくる割烹旅館。店の横には大きな蔵が控えており、年季の入った一枚板の看板が歴史を思わせる。</p>	<p>明治から続く140年以上の歴史を持つお茶屋さん、戸を開ければふわりとお茶の香りに包まれる。歴史ある建物に、現代の感性が交じり合った店内は、懐かしいのに新しい雰囲気。</p>
<p>20 門前町の名残</p>		
		
<p>聖天様を中心に栄えた妻沼には古い建物が多く残る。聖天様南通りと呼ばれるこの通りには、築100年の蔵を改築した店舗をはじめ、手作り豆腐店、和菓子屋など、昔ながらの門前町の面影を今に伝える。</p>		